

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問(要旨)につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。



障がい者就労支援の充実を 新型コロナウイルスへの有効な支援策を

橋本孝二議員(市議会公明党)

新たな日常における障がい者就労支援をより充実させるべき

質問 ①新型コロナウイルス感染症の影響による、障がい者就労生活支援センターほっとの就労支援及び生活支援の現状は。
②障害事業者等への業務継続支援金の実績と効果は。

市長 ①就労支援業務は、就労定着のための企業訪問を電話確認等に切り替えて実施し、生活支援事業は、在宅勤務で生活リズムが崩れ、体調を崩した登録者からの相談支援を行っている。

②令和2年8月末時点で、9事業所に百50万円を交付した。減収となった事業所運営の安定

の一助となったと捉えている。

新型コロナウイルス感染症に対するより有効な独自の支援策を

質問 ①中小企業等家賃支援給付金の現状の実績と効果は。
②事業者向け感染防止徹底協力金の実績と効果は。

市長 ①令和2年8月末で163件、約3千4百19万円の給付実績で、事業者から多数の感謝の手紙をもらうなど、事業継続に一定の効果があったと捉えている。

②8月末現在で千5百85件、約7千9百25万円の給付実績で、感染拡大防止に取り組み、事業を継続する事業者の支援策として効果があったと捉えている。



熱中症対策の加速化を/コロナ禍での避難所運営の在り方等

佐藤 徹議員(市議会公明党)

近年の夏の猛暑から市民を守るため熱中症対策を加速化すべき

質問 ①市立小・中学校体育館への冷暖房設備の整備を迅速に進めるべきが見解は。
②外出困難な人も含め高齢者の命を守る支援としてエアコン購入費の補助を検討すべきでは。

市長 ①設置等に伴うコスト面の課題があるほか、施設の老朽化対策等も必要な状況がある。国や都の補助事業の動向も見極め、よりよい教育環境の確保等について引き続き研究していく。

②高齢者の熱中症予防対策にエアコンの利用は有効だが、公費での助成は検討していない。

コロナ禍における避難所運営の今後の在り方等について

質問 ①3密を避けるため車で避難する人が増えると考えますが、避難所になる小・中学校グラウンドでの受入れ体制への見解は。
②避難所管理運営マニュアルの見直しを加速化すべきでは。

市長 ①地震発生時の車両避難は、渋滞等で応急対策等に支障を来すおそれがあることから、市民に協力をお願いしている。

②避難所管理運営マニュアル作成の指針増補版、新型コロナウイルス感染症対策編を周知し、避難所開設準備委員会にマニュアルの見直しを促していく。



エビデンスに基づく市政へ/キャンプ場機能を有した防災公園

伊藤 央議員(一人会派の会)

エビデンスに基づいた政治、行政の確立に向けて

質問 ①政策判断を行う上で、エビデンスを検証する専門部局を設置してはどうか。
②議員の口利きが行政の公正性や正当性、財政の効率的運用を妨げる可能性について見解は。
③議員の口利きについて記録し公表すべきと考えるが見解は。

市長 ①データを収集・蓄積方法や、データを活用しやすい環境整備、データ処理・分析を担う人材の育成等に課題があり、専門部局設置は考えていない。

②議員からの要望等は様々だが、特定の者を有利に取り扱う

よう求める行為等あれば不当要求行為に該当し行政の公正性や正当性を妨げる可能性がある。

③不当要求行為に対して適切に対応できるよう努めていく。

鷹の台公園をキャンプ場機能を有した防災公園に

質問 鷹の台公園を、平時は防災教育に資するキャンプ場、災害時はテント泊避難が可能な防災公園として整備してはどうか。

市長 今後の公園整備の検討の中で防災機能を考える必要がある。キャンプ場としての活用は、隣接住居への騒音や煙などに問題がある。具体的な整備内容を検討する中で防災機能も研究する。

鷹の台公園をキャンプ場機能を有した防災公園に



高齢者の皆さんを守るために/上水本町地域の安全対策推進を

幸田昌之議員(市議会公明党)

新しい生活様式において高齢者の皆さんを守るために

質問 ①新しい生活様式で独居高齢者、高齢者のみの世帯の見守り活動について市の施策は。
②新しい生活様式で高齢者とICTでつながるコミュニケーション施策について市の見解は。

市長 ①地域包括支援センターが電話訪問を中心に健康状態を確認し必要に応じ訪問している。引き続き、地域の多様な活動により見守りを行っていく。

②高齢者のスマートフォン等の利用で家族等とコミュニケーションが増加し、孤独感等の解消や認知症予防等も期待できる。

上水本町地域の安全対策は市が積極的に進めるべき

質問 ①上水本町、自動車教習所跡地の北側道路の安全対策は。
②市役所西通りの広くしたバス待機所に街灯等設置しては。

市長 ①事業主の対策で、施設の利用車両に左折イン・左折アウトを促す看板設置や北側交差点のカラー舗装、生活道路への通り抜け抑制の看板設置等を行う。

②鉄道事業者から借りた用地であり設備の追加は難しいが、機会を捉え事業者に伝えていく。【掲載分以外の質問項目】
○みずから健康をつくる健康増進策をさらに進めるために



ローリングストック方式の備蓄計画/迅速な振込システムを

蛇川 浩議員(市議会公明党)

感染症等緊急事態に備えローリングストック方式の備蓄計画を

質問 ①災害備蓄品の主な品目と、追加を検討している品目は。
②ローリングストック方式の備蓄計画を策定すべきでは。

市長 ①主な品目は食糧品、日用品、衣料類及び工具等資機材などがある。今後はマスクやフェースシールドなど感染症対策用品も本年度中に整備していく。

②災害の教訓等を踏まえた購入品目の設定など新たな需要等にも対応しながら計画的購入を進めている。食料品等の一部はローリングストックでの備蓄をしております。今後も推進していく。

もつと迅速に給付金等の振込ができるシステムを構築すべき

質問 ①被災者支援システムを活用し、短期間で給付金の振込を実現した自治体への評価は。
②給付事務の迅速化には口座情報の連携が必要だが、今後どんなシステムを構築する考えか。

市長 ①5月1日に申請書を発送し、約1か月後には世帯給付率が93%に達した自治体があり、迅速に対応したと認識している。

②給付金等振込の独自システム構築は考えていないが、国が、振込口座情報をマイナンバー付で国に登録する制度を検討中とのことから動向を注視していく。



ごみ減量施策を問う/普通財産とごみ集積所跡地の活用を問う

中江美和議員(一人会派の会)

市のごみ減量施策について問う

質問 ①家庭ごみ有料化及び戸別収集の効果についての評価は。
②一般廃棄物処理基本計画で掲げた目標数値の達成見込みは。

市長 ①ごみ量は着実に減少し、事業開始前より分別の徹底が図られている。また、戸別収集により、ごみ出し困難な世帯へのサービス向上につながるなど一定の効果があったと捉えている。

②排出物原単位では目標値の1人1日640gに対し、昨年度653gで達成は難しい。処理ごみ原単位では目標値480gに対し、470・8gで目標に達したため増

市が所有する普通財産とごみ集積所跡地の活用を問う

質問 ①ごみ集積所跡地で、公園等の公共用地に囲まれ売却できない所の利活用は。
②今後、公共施設の複合化による跡地は原則売却するののか。

市長 ①公園は、今後の公園整備の中で個別に活用方法を検討していく。すぐに整備できない箇所はコンクリートパネルで跡地を塞ぐ等の暫定的な処置により不法投棄等の対策をしている。

②行政需要への対応等の観点から、売却等の財産活用について個別に検討していく。



コンクリートパネルで塞ぐ処置がされたごみ集積所跡地(新小平東公園)